

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29410	幼児理解法	後藤 紗織	1年次・Ⅲ期	講義・1単位	幼免必修 保育士選択必修

授業の概要 / Course Outline
子どもひとり一人の心身の発達や学びを把握すると同時に、その意義について学び、こどもの行動や気持ちを理解するための知識を身につける。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・幼児理解に必要な総合的な見方や考え方を身につける。	A-② C-②
・幼児理解を子どもの状況に合わせた適切な関わり方に活かせるようにする。	A-② D-①
・特別な配慮を要する子どもの理解と援助について学ぶ。	A-② B-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	80%	講義で取り扱った考え方や理論についての理解を問う。
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	リアクションペーパーの内容と発言等の講義への貢献度を総合的に判断する。

教科書 / Textbooks
プリントを配布する。

参考書 / Reference Books
大浦賢治(編著)(2021)「実践につながる新しい子どもの理解と援助」ミネルヴァ書房

予習・復習 / Preparation・Review
予習:あらかじめ配布した資料に目を通し、疑問点を整理しておくこと 復習:資料に書きこんだ内容を復習すること。「疑問点」には講義中に回答するのでさらなる内容理解に努めること(予習復習の時間は90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
随時、全体向けにフィードバックを行う。期末試験についての講評はGoogle Classroomに掲載する。

その他 / Others

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	幼児理解と援助の基本
	幼児理解の意義と幼児を理解するための基本的な心構えを学ぶ。
02	0歳～1歳児の理解と援助
	0歳～1歳児の発達過程とこの時期の子どもへの関わり方を学ぶ。
03	2歳～3歳児の理解と援助
	2歳～3歳児の発達過程とこの時期の子どもへの関わり方を学ぶ。
04	4歳～6歳児の理解と援助
	4歳～6歳児の発達過程とこの時期の子どもへの関わり方を学ぶ。
05	保育の観察と記録
	保育の質の向上に不可欠である「観察」と「記録」について学ぶ。
06	発達障害児とその家族支援
	発達障害児への関わり方, さらに家族への支援について学ぶ。
07	外国にルーツをもつ子どもとその家族支援
	外国にルーツをもつ子どもの現状と保育における環境づくりについて学ぶ。
08	保育における共同と連携の意義, 総括
	協働, 連携について学ぶ。幼児理解の基本について授業全体を振り返る。